

平成12年度

北海道高等学校教育研究会

会 報

第 73 号

会員の追加登録を（研究大会の成功に向けて）

— 全体講演は河合隼雄先生に —

北海道高等学校教育研究会

会 長 田 村 勸

会員の皆様におかれましてはご多用の中、ますますご清祥のことと思います。去る3月末以来長期の有珠山噴火と地震に遭遇されている胆振支部、特に西部に位置する高校の皆様にご心からお見舞いを申し上げます。報道では周辺地域の生活復帰が進められていると伺ってはおりますが、健康でご精勤されますよう祈念するばかりであります。

さて、先月6月1日（木）に第1回役員会が開かれ、三ツ井孝二副会長のご栄転、神山健監事のご勇退などに伴う、補充年として役員を選出がなされました。代わって副会長に東條幸男（札幌北高）教頭、中鉢英敏（札幌北高）教諭、監事に北島捷弘（札幌新川高）校長が就きました。また異動などの事情により新たな地区支部長、教科部会長が選出されております。本年度も新役員（別掲）に対し絶大なご支援をくださいますようお願い申し上げます。同時に昨年度活動、事業、決算、会計監査などの報告が承認され、平成12年度の地区支部及び教科部会事務局、活動、事業、予算などについては原案どおり決定されました。その他として、①教科部会事務局校の決定方法（ローテーションなど） ②会計の逼迫した状況から年会費の値上げ等の方策 ③地区支部、教科部会活動の工夫の必要性等の意見が出されました。引き続き事務担当者会議がもたれ、本年度の教科部会事務局校の方々と部会運営上の諸手続きや課題などについて話し合いがされました。

ところで、過日各地区支部長校から本年度の会員登録案内が届けられておりますが、ここ数年会員数の漸減になかなか歯止めが掛かりません。締切り日の登録数は前年度を大きく割っている実状です。私どもの『高教研』は教育改革の中、北海道にあって高校教育の研究を深め推進するうえで、必須と言っても過言でない程重要な研究団体であると認識しております。ご存知のとおり毎年度の会費を元手として、年一回の研究大会の準備がされます。各会員におかれましては実態ご賢察の上、会員の追加登録に是非協力くださいますようお願い申し上げます。11月15日まで地区支部校で登録受付ができます。

なお、今年度第38回研究大会での全体講演講師には、現在国際日本文化研究センター所長 京都大学名誉教授 河合隼雄先生（プロフィールは別掲）をお迎えします。ご多用の先生に会員の熱意が伝わり、ご快諾をいただきました。演題は未定ですが、ご期待に添えるものとなるよう努力いたします。来る1月10日（水）～11日（木）の研究大会には是非ご参加ください。

この夏は猛暑との予報も耳にしますが、社会の変容と同様気候の揺れも大きいのでしょうか。会員の皆様におかれましては益々充実の日々となりますようご期待申し上げます。

6月1日の午後1時00分より、ルーシス札幌において、本年度第1回役員会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成11年度事業の実施報告・平成12年度事業計画の審議、役員補充などが行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 平成11年度事業報告

ア 会報

- ① 第71号 発行 (平成11年7月10日)

A4版 6頁

- ② 第72号発行 (平成12年3月18日)

A4版 24頁

内容 第37回研究大会報告

イ 第37回北海道高等学校教育研究大会

第1日目 全体集会 (平成12年1月13日)

北海道厚生年金会館

第2日目 教科別集会 (平成12年1月14日)

ウ 研究紀要 第37号発行 (平成12年3月9日)

オフセット A4版 140頁

11編

教職一般 1編

教科 10編

(内訳)

地歴・公民1 数学1 理科1 芸術1

英語2 家庭1 工業1 商業1 水産1

(2) 平成12年度 事業計画案

ア 会報 第73号、第74号 発行

- ① 第73号

規格 A4版 6頁

発行 平成12年7月

- ② 第74号

規格 A4版 24頁

発行 平成13年3月

内容 ・第38回研究大会 内容報告

・地区支部活動状況

イ 研究紀要 第38号発行

規格 A4版 約130頁

発行 平成13年3月

- ① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 25,000字以内
 守 (13件まで) [横書き 横25文字×1,000
 行] (原稿の集約・審査は各教科部会長の
 担当です)

(イ) 教職一般は、1編につき 10,000字以内
 厳守 (2件まで) [横書き 横25文字×400
 行] (原稿の集約・審査は地区支部長の担
 当です)

- ② 掲載までの流れ

- (1)

執筆者選定
各支部・教科部会長



- (2)

報告(本部へ事業計画書を提出)
各支部・教科部会長

- ・研究紀要の執筆者が決まり次第、本部事務局に FAX でお知らせください。(様式2-7、8)
- ・発表論文が特定校に集中したり、特定個人の執筆に偏ったりしないようにご配慮ください。
- ・論文執筆者は本研究会の会員に限ります。

FAX締切日 9月12日

- (3)

執筆者決定
本部

9月18日

- (4)

執筆者決定報告(各支部・教科部会長へ)
本部

9月18日



- (5)

原稿提出(各支部・教科部会長へ)
執筆者

締切日10月31日

- (6)

原稿審査
各支部・教科部会長



- (7)

原稿送付(書留)
各支部・教科部会長

- ・締切日11月7日(必着)
- ・本部事務局へ送付



- (8)

編集・発行
本部

- ③ その他

(ア) 紀要抜刷50部は執筆者にお渡しします。

ウ 第38回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 平成13年1月10日(水)
 会 場 北海道厚生年金会館
 研究主題 時代の変化に対応する高等学校教育の創造
 日 程

9:00	10:30	12:00	12:50	13:30	15:30
	準 備	昼 食 (教科打合せ)	開会式	講 演	

運 営 大会役員
 講 演 講 師 河合 隼雄 氏 1928年兵庫県生まれ
 京都大学名誉教授
 国際日本文化研究センター所長
 演 題 (未定)
 司会者 後志支部

② 教科別集会

期 日 平成13年1月11日(木)
 日 程 (概要)

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究討議	昼 食 (休 憩)	講演又は 研究討議	部会・総会

※部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科事務局で発送)
 会場・テーマ

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語 部 会	北海道経済センター	心をみがぎ、生きる力を育てる「ことば」の教育をめざして
地歴・公民部会	北海道札幌稲北高等学校	生徒の主体性を引き出す授業の創造
数 学 部 会	札幌市北区民センター	「基礎・基本の定着を図り、創造力を養い活用する能力を育てる数学教育」 「数学的活動を生かし、自ら学ぶ力を育てる数学教育」
理 科 部 会	北海道札幌白石高等学校	これからの理科教育はどうあるべきか。
保健・体育部会	北海道札幌南高等学校	「21世紀の保健体育のあり方」
養 護 部 会	北海道大学 学術交流会館	養護教諭の専門性と教育活動
芸 術 部 会	かでの2・7	これからの芸術教育
英 語 部 会	北海道北広島高等学校	国際性育てる英語教育はどうあるべきかー総合的言語活動の視点からー
家 庭 部 会	札幌市民会館(2F 会議室)	時代の変化に対応する家庭科教育の創造
農 業 部 会	札幌市民会館	新しい時代に向かって農業教育の使命の再発見と推進はいかにあるべきか
工 業 部 会	北海道札幌琴似工業高等学校	「時代に即応する工業教育の創造と実践」
商 業 部 会	北海道札幌啓北商業高等学校	未定
水 産 部 会	北海道小樽水産高等学校	新しい時代における水産教育の今日的課題とその対応はどうあるべきか

◎ 参加料 会 員 2,000円
 非会員 3,500円

(3) 平成12年度 北海道高等学校教育研究会役員

〔会 長〕 田 村 勸 (札幌旭丘)
 〔副 会 長〕 吉毛利 正也 (札幌琴似工)
 東 條 幸男 (札幌北)
 中 鉢 英敏 (札幌北)
 〔監 事〕 北 島 捷弘 (札幌新川) 石 垣 巧 (札幌東商業)
 〔顧 問〕 磯 貝 芳司 尾 崎 信夫 小 柳 六郎 高 畠 惇彦
 本 間 恒太 染 谷 昌志 綾 井 健二 武 田 泰 明

〔地区支部長〕

〔石 狩〕 渡 部 義 徳 (石 狩 南)
 〔渡 島〕 三 田 繁 治 (函館商業)
 〔檜 山〕 野土谷 捷彦 (熊 石)
 〔後 志〕 長 祐 弘 (留 寿 都)
 〔南 空 知〕 倉 地 基 雄 (南 幌)
 〔北 空 知〕 室 崎 卯 人 (滝川工業)
 〔上 川〕 河 村 勁 (旭 川 東)
 〔留 萌〕 松 平 憲 市 (増 毛)
 〔宗 谷〕 福 井 誠 一 (豊 富)
 〔網 走〕 小 滝 孝 夫 (紋 別 北)
 〔釧 路〕 本 間 良 英 (釧路商業)
 〔根 室〕 郷 保 雄 (羅 白)
 〔十 勝〕 吉 川 要 (広 尾)
 〔胆 振〕 大 高 良 雄 (登 別)
 〔日 高〕 太 田 寿 郎 (平 取)

〔教科部会長〕

〔国 語〕 酒 井 徳 長 (札幌稲雲)
 〔地歴・公民〕 山 本 良 久 (札幌稲北)
 〔数 学〕 池 田 邦 生 (石 狩)
 〔理 科〕 中 川 明 弘 (札幌月寒)
 〔保健・体育〕 伊 藤 義 雄 (札幌北陵)
 〔養 護〕 武 内 光 一 (札幌北)
 〔芸 術〕 水 野 忠 昭 (札幌東豊)
 〔英 語〕 官 地 良 一 (北 広 島)
 〔家 庭〕 佐 藤 忠 雄 (札幌南陵)
 〔農 業〕 小 原 忠 雄 (深川農業)
 〔工 業〕 吉毛利 正也 (札幌琴似工)
 〔商 業〕 斉 藤 陸 夫 (札幌啓北商)
 〔水 産〕 小 越 征 夫 (小樽水産)

〔事 務 局〕

事務局長 本 間 暹
 事務局次長 矢 野 仁 (総務) 三 井 貴 之 (運営)
 成 田 英 行 (企画) 鎌 田 圀 治 (会計)

		総 務 部		大会運営部	
部 長		村山 嘉盛		三輪礼二郎	
副 部 長		佐々木高至		久保田法順	
担 当	編 集 会 報 紀 要 大会案内 大会要項 記 録	◎武田 克伸 浜野 貢 西井 雅宏 成田志麻子 近藤 正博 齋 昌己 皆上 誠 関 孝志	会場設営	◎吉田 政弘 野村 雅博 三浦 裕司 奥井 則行 川村 剛一 佐々木浩一	
	会員登録	◎小野 信幸 大木 秀一 佐々木高至 布施 喜明 蒲生 崇之 中井 勝広	受 付	◎五十嵐昌宏 廣川 雅之 江口 學 平山 斌一 須貝 則昭 中塚 信義 北口さつき 石井 直衛 宗石 佳道 瓜田 純子 船本 治 小俣 禎文	
	発送・印刷 各種文書 大会案内 参加証	◎尾崎 正則 坂口 公志 井田 圭介 佐藤 公征 村山 嘉盛 関山 秀明	接 待	◎佐藤 由佳 長谷 勝則 千葉 順世 新谷めぐみ 中村 裕子 菊池 義子 塚原 英代 大原 勢津	
	40周年 会 計	◎佐藤 公征 成田 英行 ◎鎌田 圀治 今井 雅美	放 送	◎須藤喜久男 屋敷 健一	
	その他・会に 関わる諸業務	今井 雅美			

(4) 平成12年度 地区支部、教科部会事務局

〔地区支部〕

支部名	事務局校	事務担当者	事務局校所在地		電 話	F A X
石 狩	石 狩 南	会田 悟	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	73-4184
渡 島	函館商業	羽廣 實	041-0813	函館市昭和町1丁目17-1	0138-41-4248	41-4250
檜 山	熊 石	渡辺 省司	043-0402	熊石町字鮎川103-4	01398-2-3382	2-3382
後 志	留 寿 都	宮本 進	048-7131	留寿都村字留寿都179-1	0136-46-3376	46-3386
南空知	南 幌	佐波 宏史	069-0238	南幌町元町3-2-1	011-378-2248	378-2629
北空知	滝川工業	吉田 洋	073-1121	滝川市二の坂町西1-1-5	0125-22-1601	32-1602
上 川	旭 川 東	中川 和憲	070-0036	旭川市6条通11丁目左	0166-23-2855	23-2623
留 萌	増 毛	千葉 憲一	077-0297	増毛町南暑寒町2丁目38	0164-53-2134	53-1325
宗 谷	豊 富	藤岡 道雄	098-4101	豊富町字サロベツ475	0162-82-1709	82-1194
網 走	紋 別 北	高橋 清隆	094-8581	紋別市落石町1丁目3-18	01582-4-5285	4-5285
釧 路	釧路商業	津田 雅彰	084-0902	釧路市昭和41番地154	0154-52-3331	52-3333
根 室	羅 白	柿本比佐緒	086-1834	羅白町礼文町9-3	01538-7-2481	7-3359
十 勝	広 尾	菅野 逸一	089-2624	広尾町並木通東1丁目10番地	01558-2-2198	2-2199
胆 振	登 別	佐藤 光義	059-0016	登別市片倉町5丁目18-2	0143-85-2911	85-2911
日 高	平 取	山田 英二	055-0107	平取町本町109-2	01457-2-2709	2-2849

〔教科部会〕

教科名	事務局校	事務担当者	事務局校所在地		電 話	F A X
国 語	札幌稲雲	遠藤 彰	006-0026	札幌市手稲区本町6条4丁目1-1	011684-0034	684-0040
地歴・公民	札幌稲北	滝村 聡宏	006-0860	札幌市手稲区山口254番地	011-694-5033	694-5074
数 学	石 狩	安藤 秀世	061-3248	石狩市花川東128-31	0133-74-5771	74-8741
理 科	札幌白石	三條 克彦	003-0859	札幌市白石区川北2261	011-872-2071	872-2072
保健・体育	札幌西陵	小林 定義	063-0023	札幌市西区平和3-4-2-1	011-663-7121	633-7122
養 護	札 幌 西	佐藤 菜子	064-0954	札幌市中央区宮の森4条8丁目	011-611-4401	611-4403
芸 術	札幌東豊	竹内 敏夫	007-0820	札幌市東区東雁来町376番1	011-791-4171	791-9116
英 語	北 広 島	中條 伸義	061-1112	北広島市共栄305-3	011-372-2282	372-2281
家 庭	札幌南陵	村木 郁子	061-2292	札幌市南区藤野5-10-478	011-591-2101	591-2101
農 業	深川農業	鈴木 雄次	074-0028	深川市一己町字一己633番地1	0164-23-3043	23-2952
工 業	札幌似工	平間 信一	063-0833	札幌市西区発寒13-11-3	011-661-3251	661-3252
商 業	札幌北商	能登誠之助	005-0841	札幌市南区石山1-2-15	011-591-2021	591-2023
水 産	小樽水産	中谷 秀夫	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	23-4553

〔部会長校〕 理 科 (札幌月寒) 保健・体育 (札幌北陵) 養 護 (札幌北)

北海道高等学校教育研究会

平成12年度 会 員 加 入 状 況

(7月3日現在)

支部	国語	地歴 公民	数学	理科	保体	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	合 計	前年 合計
石 狩	150	198	158	171	127	36	92	179	48	10	18	67	1	1,255	1,339
渡 島	28	19	24	25	34	7	9	33	4	11	12	20	35	261	256
檜 山	11	10	9	9	7	4	2	15	5	4	2	14		92	99
後 志	16	18	18	13	13	1	5	14	9	27	5	18	37	194	192
南空知	18	23	19	20	17	3	6	22	9	18	13	12		180	171
北空知	15	24	10	19	15	7	6	11	6	17	10	19		159	179
上 川	45	41	34	26	19	8	18	35	13	33	18	31		321	340
留 萌	6	3	6	7	6		2	9	2	2	3	8		54	58
宗 谷	11	9	12	11	23	5	2	10	6	4	8	19		120	119
網 走	34	38	26	30	29	5	10	26	9	12	9	26		254	257
釧 路	20	24	28	14	15	2	7	22	6	3	8	17	10	176	206
根 室	7	11	6	9	6	2	1	7	4	12		10		75	75
十 勝	20	24	21	26	26	2	10	24	9	24	4	10		200	243
胆 振	24	29	24	23	15	3	4	25	9	6	21	21		204	204
日 高	7	17	15	8	11	1	6	16	5	10		9		105	111
合 計	412	488	410	411	363	86	180	448	144	193	131	301	83	3650	
前年合計	425	527	423	438	389	92	201	474	152	209	127	303	89		3,849

会員数

年 度	平 元	平 2	平 3	平 4	平 5	平 6	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11
年度末	5,586	5,482	5,269	5,142	4,945	4,807	4,777	4,338	4,064	4,167	3,849

■全体講演講師 河合隼雄先生プロフィール



昭和3年6月、兵庫県生まれ。臨床心理学者・心理療法家。現在、国際日本文化研究センター所長。昭和27年京都大学理学部卒。昭和37年から40年までスイスのユング研究所に留学、昭和40年日本人初のユング派精神分析家の資格を取得。日本におけるユング分析心理学の理解と実践に貢献し、ユング派にとどまらず、我が国の臨床心理学及び心理療法に画期的な新展望を開いた。昭和57年『昔話と日本人の心』で大佛次郎賞、昭和63年『明恵 夢を生きる』で新潮学芸賞受賞。その他『中空構造日本の深層』『とりかへばや、男と女』等著作や論文は多数あり、それら実践に基づいた説得力ある論考は、

従来の人間心理の解釈に新しい視点を開き、心理学のみならず、分野をこえて多くの国内外の研究者・文化人に多大な影響を与えるとともに、多くの一般の人々にも共感の輪を広げている。平成7年4月紫綬褒章受章、平成8年3月NHK放送文化賞、平成10年1月朝日賞受賞。現在、首相の私的諮問機関「21世紀日本の構想」懇談会の座長、教育改革国民会議委員を務めている。

■会員登録のお願い

本研究会は、昭和38年設立以来、高等学校の各教科等に関する事項を研究し、会員相互の研修と識見の向上に努めている道内最大規模の高等学校研究団体であり、多年に亘る活動と成果を通して本道高等学校教育の充実・振興に大きく寄与しております。

平成12年度においても、高等学校教育の諸問題の解明と進展に寄与するため、15地区支部、13教科部会で調査研究を実施する他、研究大会を開催します。

また、研究紀要・会報の発行を行い、全会員に配布します。

是非、本研究会の会員として積極的に研修活動を実践されることを希望しております。会員登録は各地区支部事務局校で、11月15日(水)まで行っております。

発 行 平 成 1 2 年 7 月
 北海道高等学校教育研究会本部事務局
 〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
 北海道札幌旭ヶ丘高等学校内
 T E L 011-513-2238
 F A X 011-513-2238